

性能評価結果 (申請者: ジャパン・トウエンティワン株式会社)

評価項目		評価内容	評価	衝突事故・車線逸脱による事故防止に資する装置 装置名 MobileyeME570(モバイルアイ)(供試車両:トヨタ カローラフィールダー DBA-NZE141G) 会社名 Mobileye社 (販売会社 ジャパン・トウエンティワン株式会社:J21)
1. 装置の取付け・設定	①取付けの難易度※1	・使用者による取付けの可否及び有資格者等による作業の必要性 ・取付けの工程及び所要時間	難	・使用者による取付けは出来ない。装置の精度・再現性を確保するため。 ・取付けはJ21の講習を受けたIDを持つ有資格者が行う。 2時間35分
	②設定及び調整の難易度※1	・使用者による設定調整の可否及び有資格者等による作業の必要性 ・設定及び調整の工程及び所要時間 ・設定及び調整を誤った場合の影響	難	・使用者は、警報音量調整のみ可能である。 ・その他の装置の設定調整はJ21の講習を受けたIDを持つ有資格者が行う。 1時間10分 使用者作業により取付・設定調整をした場合、精度・再現性が確保できず警報が作動しない場合がある。
2. 装置の構造・機能	①構造	・装置の構造	易	単眼カメラ・画像解析方式(画角上下30° 左右38°)
	②機能	・取扱説明書等に記載されている機能	易	前方車間距離警報、前方車両衝突警報、低速時前方車両衝突警報、バーチャルバンパー、歩行者衝突警報、車線逸脱警報、速度制限インジケータ
	③機能確認	・その機能が適切に発揮されているかどうか※2	易	JATA制定の試験規定のある前方車両衝突警報および車線逸脱警報の2機能をテストコースで確認した。 ・前方車両衝突警報は、車両速度30km/h以上で機能が適切に作動していることを確認。 ・車線逸脱警報は、車両速度55km/h以上で機能が適切に作動していることを確認。
3 装置の操作性※3		・装置の操作における難易度(装置のメカニズムに対する理解及び装置操作習得の容易性)	易	装置の操作性は、比較的容易である。
4. 道路運送車両の保安基準適合性への影響				添付物等の指定申請許可(国自技第169号)のラベルを貼付し、本体から取付範囲が前面ガラスの上端から実全長の30%までの位置又は下端より300mmまでの位置に装着している場合は保安基準に適合していることを表示する。
5. 期待される効果及び想定される使用上の注意点(誤作動、不要作動の有無)	①期待される効果	・上記1から3を踏まえた期待される効果	易	装置は正常に作動し、運転者3名による計18回の路上走行試験において後半の走行になるに従い警報作動が減った。また、運転者への聞き取り情報では、警報が作動しないように運転し警報が減ったとの申告があり、安全運転に対する学習効果が期待される。
	②使用上の注意点	・上記1から3を踏まえた想定される使用上の注意点(使用にあたり装置の機能が適切に発揮されるために必要な注意点、安全上必要となる注意点及び機能が発揮しなくても良い場合の不要作動)	易	「ME570用Mobileyeシステムについて」の「説明書」に誤認識・不動作・不要作動の条件・注意が記載されている。実際に路上走行試験で発生した事例を以下のとおり確認しているため、「簡易取扱説明書」にも記載することでユーザーに対してより周知を図る必要がある。 ・細街路及び車線のない路面上で対向車の誤認識、不要作動があった。 ・狭い細街路の側壁や曲線路上にある標識の誤認識、誤動作があった。 ・右折専用車線、バス停留所ライン等路面上の表記を誤認して車線逸脱警報が作動する場面があった。 ・互いに右折する場合に相手側車両を急な割り込みとして誤認識があった。 ・人、車両、二輪車が横断する、あるいは横断しようとする場合、また、車線の異なる側方の自転車、人を認識しない場面があった。 その他に以下のような注意点についても「簡易取扱説明書」に記載し、ユーザーに対してより周知を図る必要がある。 ・歩行者警報は夜間解除されるが、解除された場合のユーザーへの周知機能がなかった。
6. 装置の整備・耐久性等	①点検・整備等	・装置の機能を維持するために必要となる定期的な点検整備等の内容及びその難易度※4	易	定期的な点検整備を要しない。
	②耐久性・製品保証	・装置の製造者が掲げる製品保証の内容	易	製造者はISO9001を取得しており3年間の保証をしている。保証事項が発生した場合は取付業者が受け付ける。
		・装置の装着に伴う自動車メーカーの製品保証への影響 ・構造部材等の劣化及び故障等のリスク※5	易	ブレーキ等の制御系に影響が無い後付け装置であり、自動車メーカーの製品保証に影響しない。 本体カメラは、フロントガラスに両面テープで取り付けられていることから、粘着不良になると、脱落するおそれがあるため、粘着部分の耐久性が求められる。

※注釈
 ※1 取付け、点検等の難易度評価のレベル
 【難】：自動車整備有資格者等による技術 【やや難】：定期点検整備を実施するなど専門的な知識・技術 【易】：取扱い説明書等に基づき簡単に作業できる
 ※2 ショッピングダイナモメータ、テストコース (JARI) を活用
 ※3 操作における難易度評価のレベル
 【難】：装置のメカニズムを理解する必要があり操作習得が難しい 【やや難】：装置のメカニズムをある程度理解すれば操作を習得しやすい 【易】：装置のメカニズムを理解しなくても簡単に操作できる
 ※4 装置の製造者が掲げる点検・整備項目に基づき評価
 ※5 装置の材料、構造及び使用形態等から一般的に考えられることについて記載